

公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名

ゴールドコーストチャレンジカップ

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
4		H 26	12	18	11:30	Gold Coast Hockey Stadium	
チーム名	JAPAN (1勝2分)	試合	3	—	3	チーム名	New Zealand (2分1敗)
		1	0	—	0		
		2	0	—	1		
		3	1	—	1		
		4	2	—	1		

NO.	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	31	1	TANAKA Akio (GK)			
2	×	2	SUZUKI Fumika (GK)			
3	×	3	MORIKAWA Mei			
4	×	4	TSUBOUCHI Moeka			
5	×	5	INOUE Sakura (C)			
6	×	6	ITO Akari			
7	8	7	NAKAHANA Airi			
8	8	8	MORI Kanon			
9	×	9	NOCHIMOTO Wakana			
10	8	10	SEGAWA Maho			
11	×	11	IMAO Akiho			
12	×	12	TANAKA Kaho			
13	×	13	TAKIZAWA Maho			
14		14	ARATA Saaya			
15	8	15	KOMIYA Haruna			
16	×	16	MURAYAMA Miho			
17	×	17	KUBODERA Yuki			
18	8	18	ENNDO Nagisa			

監督 山野 秀一

アンパイア Cubig I

ジャッジ Yeler

T. O.

チーム	時間	No.	種	スコア
JPN	68	8	FG	3-3

監督 Robye Nell

アンパイア Hurren

リザーブアンパイア

特記事項

特記事項

U18女子 ゴールドコーストチャレンジカップ

第4戦 【12月18日 11:30~】 vs NZ

NZとの最終戦は、NZのセンターパスにより試合が開始。立ち上がりからNZのペースで試合は進む。NZは5分早いリスタートからフリーシュートのチャンスを得るも、GK#2鈴木の好判断で先制させない。続く6分、立て続けにPCを取得。日本DFは集中して守りきる。12分にもNZはPCを取得し、チャンスを得るが、生かし切れない。0-0で第1ピリオドを終了。

第2ピリオドに入ってもNZペースで試合は進む。NZは18分、またしてもFHのリスタートからふりーシュートのチャンスを得るが、日本GK#2鈴木が好セーブを見せ得点させない。しかし、そのBHボールをNZにインターセプトされ、トップの#18Iulu Tuilotavaに繋げられる。Iulu Tuilotavaは落ち着いて日本DFをかわし、豪快なレバースヒットシュートを決め、先制する。その後は、日本、NZともにPCを取得するも、チャンスを生かし切れず、0-1で終える。

第3ピリオドに入ると、徐々に日本のペースとなる。33分、#10瀬川-#8森-#6伊藤と繋ぐもシュートが打てず、PCとなる。このPCのリバウンドを#12田中が拾い、試合を振り出しに戻す。37分NZはPCを取得。#16Sophie RiderのプッシュシュートにGK#1田中がタイミングを合わせず、NZがリードする。日本は、40分#12田中、41分#4坪内、43分#8森とシュートチャンスを得るも、決めきることができず、このピリオドを1-1で終える。

第4ピリオドに入り、一進一退の攻防が続く。立ち上がり、センターパスからの#10瀬川の速攻に#11今尾が合わせるも、#6伊藤はシュートが打てない。48分、日本はPCを取得。#3森川のシュートはアップとなり、得点にはならない。NZは49分、右サイドのFHから#18Iulu Tuilotavaに繋がり、フリーシュート。これが決まり、NZがリードを広げる。53分にはPCを取得するも追加点とはならない。日本は56分、左サイド#16村山のリスタートからゴール前の#8森に繋がり、GKとの1対1を森が決め、点差を縮める。追いつきたい日本は58分、右サイドから#15小宮がドリブルで持ち込み、ゴール前の#8森にパス。このボールを森が粘って決め、同点とする。試合はこのまま終了し、3-3の引き分けとなる。

通算成績を3戦して、1勝2分とした。

	シュート					PC				
	1	2	3	4	合計	1	2	3	4	合計
JPN	0	1	4	4	9	0	1	1	1	3
NZ	1	2	1	1	5	3	2	1	1	7